



庄内赤川

S H O N A I - A K A G A W A

第28号
広報

令和4年新年号

謹
賀
新
年

庄内平野を貫く一級河川赤川
赤川受益約1万haの国営かん排事業が完工を迎えました

特集

国営赤川二期農業水利事業 完工 (2~6ページ)

CONTENTS ◆主な内容

7P 国営ICTモデル事業研修視察について
7P 県営たらのきだい地区農地整備事業 完工
8P 令和2年度 収支決算関係

11P 国営・県営事業に係る要請活動
12P 区への届出・賦課金納付等のお知らせ



■ 受益面積 / 11,300ha
■ 組合員数 / 4,551人

祝 国営赤川二期農業水



農林水産省 東北農政局長
坂本 修様

国営赤川二期農業水利事業完工式の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本事業が平成22年度に着手されてから12年、この日を迎えることができました。これも受益者をはじめ、山形県、鶴岡市、酒田市、三川町、庄内赤川土地改良区、因幡堰土地改良区及び赤川地区国営土地改良事業促進協議会並びに地元関係者の皆様方の御尽力の賜物であると、心より感謝申し上げます。

本地域では、昭和39年度から49年度に掛けて実施された国営赤川土地改良事業により、赤川頭首工、赤川揚水機場や幹線用水路が整備されました。あわせて、県営ほ場整備事業等が順次実施されたことにより、水稻を基幹とした土地利用型農業が展開され、県内有数の農業地帯として発展を遂げてきました。しかし、赤川頭首工等の基幹水利施設は、築造後約40年が経過し、寒冷な気象条件の下で老朽化が著しく進行したほか、営農形態が大きく変化していることなどに伴い、農業用水の安定供給に支障をきたすとともに、施設の維持管理に多大な経費と労力を要する状況にありました。このため、地域では施設改修の機運が高まり、地元関係者の熱意と山形県ほか関係部局の御尽力により、平成22年度から国営かんがい排水事業として施設の改修に着手いたしました。事業着手後、赤川頭首工や幹線用水路の改修等を順次実施するとともに、赤川揚水機場を廃止して赤川頭首工に機能統合する用水再編や小水力発電を導入したことにより、地域が抱えていた農業用水の安定供給及び施設の維持管理

等の課題が解決され、将来にわたって、地域の農業生産性の向上と農業経営の安定が図られる環境が整備されたところであります。

さて、今日、農業・農村は人口減少に伴う国内マーケットの縮小や農業者の減少・高齢化が深刻化しており、地域をいかに維持し、次の世代に継承していくのか、といった視点から生産基盤を強化することが求められています。一方、海外においては、新興国の経済成長や人口増加に伴い、食の市場規模は今後とも拡大すると見込まれており、山形県産つや姫の輸出など、積極的に農林水産物及び食品の輸出促進に取り組むことが重要です。このため農林水産省では、新たな「土地改良長期計画」等に基づき、水田の汎用化を進める基盤整備をはじめ、農業生産性向上や六次産業化を進める施設整備といった各種施策を動員し、高収益作物の導入や生産コストを低減しようとする地域の取組を支援しているところです。

また、「みどりの食料システム戦略」の下、環境負荷の軽減を図りながら、持続的な食料システムの構築を目指すこととしております。本地域では、担い手の規模拡大や農地の集積・集約化が進められており、さらに、水稻を中心に水田の畑利用による大豆のほか、地域特産のえだまめ、赤かぶ等を組み合わせた複合経営にも取り組まれております。本事業の完工を契機として、こうした収益性のある地域農業が強固なものとなり、次世代を担う若者が活躍する魅力ある農業へとつながることを御期待申し上げます。

結びに当たり、本地域が農業を中心に豊かで住み良い農村地域として、更なる発展を遂げられますとともに、本日御臨席の皆様方のますますの御健勝を祈念申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

(完工式典 式辞より)



赤川地区国営土地改良事業
促進協議会会長
鶴岡市長
皆川 治様

国営赤川二期農業水利事業の完工式にあたり、地元の赤川地区国営土地改良事業促進協議会を代表し、衷心より御礼を申し上げます。

本地区の赤川頭首工及び幹線用水路等は、築造後約40年が経過し、厳しい気象条件などもあり、施設の老

朽化の進行によって、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、維持管理には多大な労力と経費を要することとなり、早期の改修が課題となっておりました。平成14年度からの整備構想の検討に始まり、平成22年度の事業着手など、長きにわたり着実に事業を推進・実施していただきましたことは、農林水産省農村振興局をはじめ、東北農政局、赤川農業水利事業所、山形県御当局、関係者の皆様のご尽力の賜物でございます。この度の事業では、将来の維持管理を見据えた整備を実施していただきました。取水口が赤川頭首工に統合され、また幹線用水路の通水状況の監視や通水量制御

利事業完工

老朽化著しい状態にあった基幹水利施設群の補修整備を目的として、平成22年度から実施されていた「国営赤川二期農業水利事業」が令和3年度を以て完工となります。完工を記念し、事業主体である東北農政局主催により、令和3年11月18日(木) グランドエル・サンにて完工式が執り行われました。

の遠隔化が可能となりました。

さらには発電による売電収益を維持管理費へ充当することで、施設の維持管理費の一層の軽減が図られることとなりました。こうした生産基盤の整備は、県内1位の農業産出額を誇る本市を含む本地区の基幹産業である農業の維持発展に大きく貢献するものであります。

農業用水の安定的な供給と維持管理の軽減等により、地域農業の生産性の向上と農業経営の安定に大きく貢献するものと確信しております。次世代の担い手のための基盤整備や、中山間地域の振興、コロナ禍における米価

をめぐる情勢など、農業・農村を取り巻く情勢は依然として多くの課題を抱えておりますので、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日大変お忙しい中ご臨席を賜りました、後程講演をいただく進藤金日子先生、また、本事業の推進にご指導いただきました加藤鮎子先生、舟山康江先生、芳賀道也先生をはじめとするご来賓の皆様にご心より御礼を申し上げますとともに、国、山形県御当局並びに関係各位に改めて深甚なる謝意と御礼を申し上げ、完工への感謝の言葉といたします。(完工式典 謝辞より)



赤川地区国営土地改良事業
促進協議会副会長

庄内赤川土地改良区理事長

本間松弥

平成22年の着工から足掛け12年の歳月を経て、本日ここに無事、完工式を執り行うことができましたことは、まことに感慨ひとしおであり、ひとえに、農林水産省はもとより、本日臨席賜りました国会議員の先生方、また国土交通省、山形県、各市町をはじめとする関係各所の皆様のご理解とご協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

さきほどの完工式において、赤川農業水利事業所 神馬所長様からもご紹介ありましたように、このたびの事業では、昭和40年代に実施されました、国営一期事業において造成された施設の延命化を図るとともに、新たに水管理システムの導入、小水力発電所の建設など、現在の世相を反映した整備も実施して頂きました。お陰様を持ちまして小水力発電所も順調に稼働し、その売電収益の一部を施設の維持管理費へ充当するなど、組合員の負担軽減にも確実に繋がっております。事業

期間中には東日本大震災の発生や新型コロナウイルス感染症の感染拡大など決して平穏な時期ではない中で、これだけの事業が完遂出来ました事に組合員を代表し改めて感謝申し上げます。

また、本日は公務ご多用のところ参議院議員 進藤金日子様、全土連専務理事 室本隆司様には基調講演をお願いしたところ快くお引き受け頂き誠にありがとうございます。

このコロナ禍のなか、米価の低迷や担い手不足など、現在我々が直面している課題を克服する為の大変貴重なお話を拝聴出来る機会と喜ばしく思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

最後になりますが、当赤川地区は一万haへ灌漑する赤川頭首工をはじめとする日本有数の基幹水利施設を抱え、これからも「農業農村は日本の命綱」そして、「土地改良は未来への礎」、この理念のもと農業生産基盤の強化や整備という重要な役割を担っているということを肝に銘じ、今後も農業農村の振興に寄与すべく、努力していく所存でありますので、何卒、事業完了後も引き続き、皆様方からの、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、開会の挨拶といたします。

(完工記念講演会 開会挨拶より)



▲ 完工式の様子 (鶴岡市 グランドエル・サン)



▲ 祝辞を述べる加藤鮎子衆議院議員

当日は
加藤鮎子衆議院議員
舟山康江参議院議員
芳賀道也参議院議員
進藤金日子参議院議員
よりご臨席の上
祝辞をいただきました。

完工記念講演会を開催

完工式と併せ、同会場で完工記念講演会が開催されました。当日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に最大限の配慮を行い、飲食を伴う祝賀行事は行わない形での開催となりました。

講師として下記のお二方をお招きし、ご講演をいただきました。

参議院議員

進藤金日子氏 (全国水土里ネット会長会議顧問)

演題：「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」

全国土地改良事業団体連合会専務理事

室本隆司氏 (前農林水産省農村振興局長)

演題：「スマート農業の現状と課題」



御祝いのことば

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 **進藤金日子様**

皆様こんにちは。ご紹介いただきました、参議院議員進藤金日子でございます。国営赤川二期農業水利事業の完工、誠にありがとうございます。

まずは受益農家の皆様方に大きなお祝いを申し上げたいと思います。事業期間は12年とありますが、調査を含めると約15年もの期間、関係市町の方々、改良区の皆様方、山形県の関係皆様方、そして東北農政局の皆様方、本当に多くの方々、この事業に関わって汗を流していただきました。心から感謝と敬意を表したいと思います。先ほど赤川農業水利事業所の神馬所長から事業経過報告がございましたが、国営事業所は最前線で頑張っておりました。農政局一体となってやってきたわけであります。歴代所長はじめ、職員の皆様方のご苦勞にも敬意を表したいと思います。

今回の赤川二期事業のポイントは3つあると思います。まず1点目は、用排水施設の系統でございます。そこを見直しながら、最新技術を使って更新をしたと伺っております。それから2点目が、維持管理費を低減することで、国の揚水機場を思い切って廃止して、なおかつ小水力発電施設を建造した、これが極めて大きなポイントだと思います。そして3点目が、システムでございます。ICT含めた近代技術を使いながらシステム化していったこと。この3つが大きなポイントではないかと思っております。

本日は完工の喜びの席でございますけれども、二期事業ですから、三期事業に向けたカウントダウンが始まっているわけであります。この施設は国有財産であります。皆で共有しなければいけないことがございます。1つ目はストックマネジメント。ここは徹底しなければいけません。これは水利施設だけではなく、比較的更新の期間が短いシステム系、この部分についてもしっかりとストックマネジメントをやっていかなければなりません。

この点は極めて重要であると思えます。そして2つ目は、小水力発電です。この施設群を見ますと、まだまだ小水力発電が可能なのかもしれません。これからも更に発電技術は向上していきます。グリーン化という視点から見ても、この活動の推進はやっていかなければいけないと思えます。そして3つ目、今回システム化も行っているわけでございますが、いわゆるスマート農業のAI技術の発達というのは日進月歩であります。さらにこの技術の発達に即した形のシステム対応をやっていかなければならないと思えます。

いずれにしても、ただいま申しましたこの3つのポイントと、これからの3つの柱としましては、地域の営農からかけ離れてはいけません。しっかりと地域の方々の営農とリンクした形で、次期事業のカウントダウンにつないでいく必要があるのではないかと思います。

初期の事業の時から、この赤川の中で大きな水争いもあり、水に関する苦勞をなされてきました。今回は二期事業でありますけれども、歴史というものを後世に伝えていかなければいけないのではないかと思います。全国を周りますと、パイプラインで水がバルブをひねると出てくるのが当然だと思っている世代が多いです。過去の苦勞を理解していない方が多くなってきております。これでは先人が報われません。しっかりと大地に刻まれた先人の歴史も伝えていただいて、この赤川の地域が将来の農業の中心であり、また水田農業いろいろな面で発展していく中で、大きな地域の力を蓄えながら発展していくことを心からお祈り申し上げたいと思えます。

結びになりますが、重ねて関係者の皆様へのお祝いを申し上げ、さらなる発展をご祈念申し上げまして、わたくしからの御祝いのご挨拶にさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

(完工式典 祝辞より)



▲ 完工記念講演会で開会の挨拶を述べる本間理事長



▲ 進藤金日子 参議院議員

▲ 室本隆司 全土連専務理事

国営赤川二期農業水利事業の概要

日本有数の米どころ庄内平野において、鶴岡市、酒田市、三川町の2市1町にまたがる赤川水系約1万haもの圃場に水を届けているのは、日本最大級の取水施設である赤川頭首工と、総延長48kmにもおよぶ幹線用水路群です。昭和39年度から昭和49年度にかけて「国営赤川土地改良事業」で造成されたこれらの基幹水利施設は、築造40年以上が経過し、老朽化著しい状態にありました。農業用水の安定供給のため、平成22年度より開始された「国営赤川二期事業」では、最新の技術を用いたさまざまな改修・補修・更新が行われました。また維持管理費の低減を図るため、用水系統の見直しや、新しい水管理システムの導入、再生可能エネルギーである小水力発電施設の建造なども併せて行われています。庄内赤川土地改良区では、完成したこれらの施設の管理に努めていくとともに、適正な配水、用水の安定供給を心がけ、庄内の農業振興に寄与して参ります。



▲更新された東三号幹線用水路

事業概要

事業目的	農業用水改良			
受益面積 (平成20年4月現在)	水田 (ha)			
	鶴岡市	酒田市	三川町	計
	7,216	810	2,028	10,054
事業実施期間	平成22年度～令和3年度			

主要工事

名称	堤高	堤長 (可動部)	取水位	取水量	付帯施設	備考
赤川頭首工	3.1m	166.9m 洪水吐 29.7m×4門 土砂吐 20.0m×1門	71.4m 取水門 B5.0m×H2.5m×6門 B2.3m×H2.5m×1門	41.45m ³ /s	制水門 B5.4m×H2.5m×6門 B2.7m×H2.5m×1門	補修 更新

水路名	かんがい面積	通水量	延長			構造	主要構造物	工事内容 備考
			開きよ	トンネル その他	計			
西一号幹線用水路	9,517ha	38.78m ³ /s	9.2km	0.5km	9.7km	コンクリート直壁型 サイホン 5箇所 落差工 25箇所	指定工事 補修	
西三号幹線用水路	(1,182ha)	4.71m ³ /s	5.4km	0.3km	5.7km	コンクリート直壁型 及び管水路 サイホン 12箇所	補修:()内は西一号幹線用水路と重複で内数	
東一号幹線用水路	537ha	2.67m ³ /s	1.1km	4.8km	5.9km	コンクリート直壁型 トンネル及び開水路 サイホン 2箇所	補修	
東二号幹線用水路	(1,324ha)	5.49m ³ /s	9.8km	0.2km	10.0km	コンクリート直壁型 及び管水路 サイホン 6箇所	補修:()内は西一号幹線用水路と重複で内数	
東三号幹線用水路	(3,544ha)	14.04m ³ /s	10.9km	0.2km	11.1km	コンクリート直壁型 及び管水路 サイホン 6箇所 落差工 3箇所	指定工事 改築・補修: ()内は西一号幹線用水路と重複で内数	
			4.6km	0.1km	4.7km	コンクリート直壁型 及び管水路 サイホン 3箇所	補修:()内は西一号幹線用水路と重複で内数	
東五ヶ村用水路	(618ha)	2.55m ³ /s	1.3km	-	1.3km	コンクリート直壁型	補修:()内は東三号幹線用水路と重複で内数	
計	10,054ha		42.3km	6.1km	48.4km			

施設名	項目	制御方式	規模	数量	備考	施設名	内容
水管理施設		遠方監視制御	中央管理所 (親局) 子局及び孫局	1式	頭首工付帯施設	赤川揚水機場	廃止



事業概要位置図



▲東三号幹線用水路調整池



▲東三号幹線用水路



▲赤川揚水機場



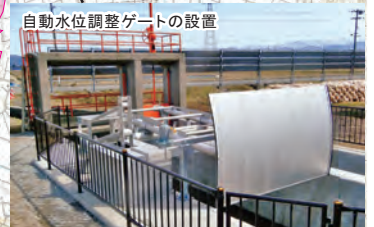
▲東五ヶ村分水工



▲湯野沢地区ほ場水位自動制御システム



▲赤川用水管理センター



▲東二号幹線用水路大分水工



▲青龍寺分水工



▲赤川地区小水力発電所



▲赤川頭首工



▲東一号幹線用水路

凡例	
受益面積(田)	
事業対象水利施設	



国営モデル事業 ICT自動給水システムの研修視察を実施

国営ICT（情報通信技術）モデル事業として、本土地改良区管内湯野沢地区に昨年度より設置されたほ場自動給水システムの現地視察に、多くの関係機関・団体が訪れています。

現在、地区全体に117箇所の自動給水栓が取り付けられ、送水ポンプ場である栄第4揚水機場とのシステム連動を含めた効果実証調査が行われています。スマートフォンやPCでの遠隔監視・管理・操作など、今後の農業にとって重要となるICTスマート農業の普及を見据えた取り組みとなっています。



▲ 揚水機場での操作説明のようす



▲ ほ場での自動給水栓の仕様説明のようす

ICT自動給水制御システムのメリット

農家の皆さん

- 水管理労力を低減
- 水位設定による自動給水が可能
- 無駄な給水、排水がなくなる
- 水管理の履歴を確認できる

揚水機場の管理面

- 遠隔で起動・停止操作ができる
- 流量・バルブ開度が自動制御されるため、管理労力が低減
- 適正出力管理による電気代軽減

県営たらのきだい地区農地整備事業竣工

平成26年度に着手した県営たらのきだい地区農地整備事業（丸山敬房実行委員長）が完了し、事業竣工式が令和3年11月12日（金）にたらのきだい公民館にて開催され、山形県をはじめ、鶴岡市やJAなどの関係機関並びに地元関係者出席のもと、神事が執り行われました。

中山間地域であるこの地区の水田は、用排水兼用の土水路が多く水管理が煩雑だった上に、区画・農道が狭小であることから大型農業機械の導入が図られず、耕作放棄地が増え続けていました。

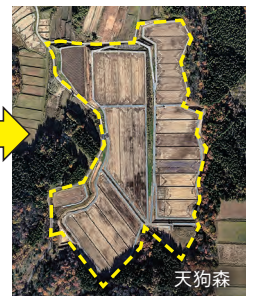
本事業での農地区画整理により、最大で長辺約200m、1枚約6haもの見事なほ場が出来上がり、用水路は高低差自然圧を活かしたパイプラインに更新されました。同時に地下かんがいも整備され、水稻のみならず多様な畑作物の生産が可能となります。

農地の集団化及び面的集積が行われた今後は、効率的かつ安定的な農業経営の確立が期待されます。水利施設の管理が引き継がれる当改良区では、その適正な維持管理に努めて参ります。

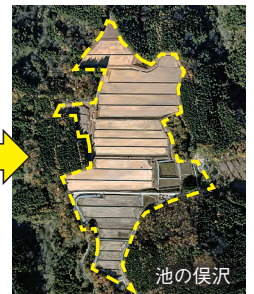
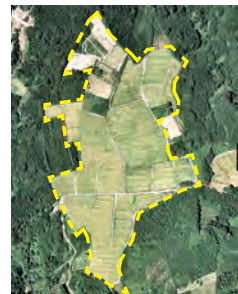
整備前



整備後



天狗森



池の俣沢



事業概要

- 区画整理工：21ha 標準区画50a(長辺180m×短辺30m)
標準区画30a(長辺100m×短辺30m)
- 用水路工：4.0km 用排水兼用開水路を地中埋設用水管に更新
- 地下灌漑工：9.3ha 水田の畑作利用を推進
細やかな水管理で導入作物の多様化に対応
- 道路工：4.7km 農道を拡幅、圃場を囲む形に改修
- 事業費：8億7千7百万円
- 負担率：国 55%、県 27.5%、市 10%、地元 7.5%
- 工期：平成26年度～令和2年度

たらのきだい天狗森地内に建立された竣工記念碑



▲ 式典にて挨拶を述べる丸山敬房実行委員長

令和3年度 第1回臨時総代会開催

今年の第1回臨時総代会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、9月15日(水)に本区大会議室に於いて書面議決による開催となりました。

当日は、理事長、副理事長、総括監事が出席し、議長に上野正彦 総代(第6選挙区・上藤島)、副議長に井上亨 総代(第2選挙区・桂荒俣)、議事録記名人に五十嵐匡 総代(第9選挙区・大広)、上野泰司 総代(第2選挙区・下山添)を選出し、令和2年度決算関係の承認、定款の一部改正など上程された全4案件について総代の皆様から事前に提出いただいた書面議決書(59名)により審議していただいた結果、原案通り可決されました。

付議事項

承認第1号	令和2年度決算関係書類の承認について
承認第2号	専決処分の承認について
承認第3号	監査規程一部改正の承認について
議 第1号	令和3年度一般会計第2回補正予算



▲ 総代会のようす



▲ 左：議 長 上野正彦 総代(上藤島)
右：副議長 井上 亨 総代(桂荒俣)

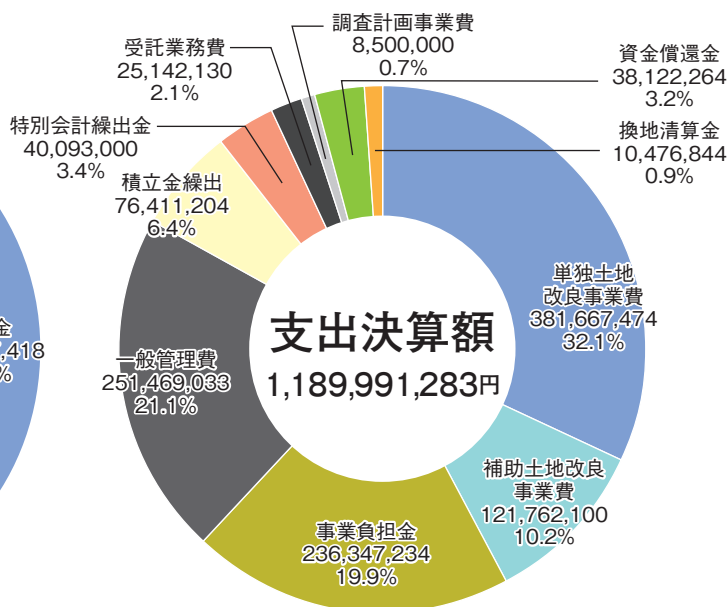
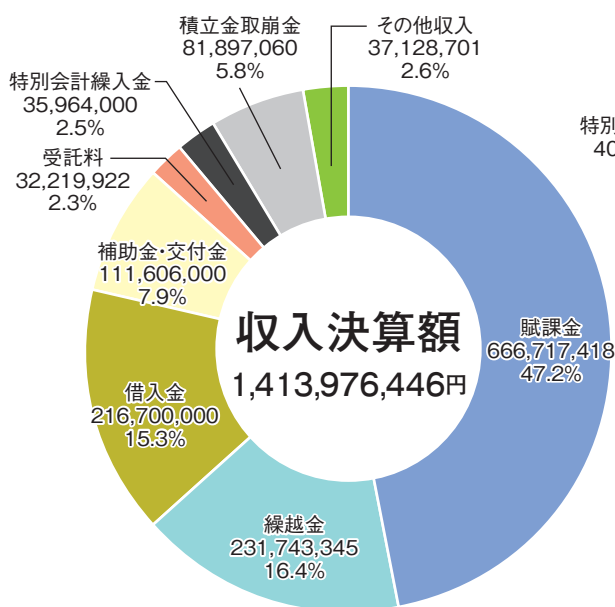
報告事項

監報告第1号	令和3年度第1回定例監査報告
--------	----------------

令和2年度 収支決算状況

(単位：円)

一般会計収支決算



収支決算差引額 223,985,163円は令和3年度へ繰越

収支決算総括表

(単位：円)

会計区分	予算額	収入決算額	支出決算額	差引残高
一般会計	1,261,088,000	1,413,976,446	1,189,991,283	223,985,163
赤川地区共同管理費	106,442,000	133,184,807	116,503,219	16,681,588
赤川地区小水力発電事業費	48,000,000	52,068,006	50,703,000	1,365,006
天保大川地区小水力発電事業費	1,814,000	1,491,170	954,456	536,714
内部取引消去	△ 98,057,000	△ 98,057,000	△ 98,057,000	0
合計	1,319,287,000	1,502,663,429	1,260,094,958	242,568,471

令和2年度 財産状況

貸借対照表

(単位：円)

科目	一般会計	赤川地区共同管理費	赤川地区小水力発電事業費	天保大川地区小水力発電事業費
資産の部				
流動資産	341,025,929	19,429,827	4,534,191	538,694
現金及び預金	230,761,725	16,818,964	329,835	538,694
短期未収金	105,200,704	1,424,863	4,204,356	0
有価証券および出資金	5,063,500	1,186,000	0	0
固定資産	4,637,329,820	1,064,510,479	82,561,860	28,204,816
有形固定資産	2,375,867,524	397,308,695	755,004	27,954,816
無形固定資産	4,149,437	231,828	17,393,749	0
その他固定資産	2,257,312,859	666,969,956	64,413,107	250,000
繰延資産	0	0	0	0
資産合計	4,978,355,749	1,083,940,306	87,096,051	28,743,510
負債の部				
流動負債	107,410,637	1,562,239	3,169,185	1,980
短期未払金	106,751,845	1,502,719	3,169,185	1,980
短期預り金	658,792	59,520	0	0
固定負債	936,916,602	0	22,819,635	19,500,000
引当金	76,753,375	0	1,800,000	0
公庫資金等長期借入金	86,333,822	0	0	0
その他長期借入金	764,919,405	0	0	0
適正化事業拠出金未払金	8,910,000	0	0	0
長期未払金	0	0	21,019,635	19,500,000
負債合計	1,044,327,239	1,562,239	25,988,820	19,501,980
正味財産の部				
指定正味財産	353,386,411	0	0	29,106,264
一般正味財産	3,580,642,099	1,082,378,067	61,107,231	△ 19,864,734
正味財産合計	3,934,028,510	1,082,378,067	61,107,231	9,241,530
負債及び正味財産合計	4,978,355,749	1,083,940,306	87,096,051	28,743,510

正味財産増減計算書

(単位：円)

科目	一般会計	赤川地区共同管理費	赤川地区小水力発電事業費	天保大川地区小水力発電事業費
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収入				
1 土地改良事業収入	674,602,649			
2 附帯事業収入	4,305,771	45,973		
3 基本財産運用収入	139,466	13,746,085		
4 特定資産運用収入	1,319,587	296,851		
5 補助金等収入	66,336,000			
6 交付金収入	30,180,000	537,463		
7 納付金収入	2,591,552	6,376,000		
8 受託料収入	32,219,922	20,642,400		
9 雑収入	4,074,123	497,891	14,693	6
10 積立金取崩収入	9,779,000			
11 交付換地清算金収入	5,238,422			
12 徴収換地清算金収入	5,238,422			
13 他会計繰入金	35,964,000	62,093,000		
14 発電事業収入			51,086,410	742,389
経常収入計	871,988,914	104,235,663	51,101,103	742,395
(2) 経常支出				
1 土地改良事業費	765,408,185	34,987,473	966,903	1,395,198
2 一般管理費	233,492,454	14,328,454	1,812,796	
3 負担金等	236,347,234			
4 借入金返済支出	1,483,934			
5 支払換地清算金	5,238,422			
6 納付換地清算金	5,238,422			
7 他会計繰出金	40,093,000	35,814,000	22,000,000	150,000
8 施設維持管理費			9,319,482	534,456
9 諸支出金			3,601,185	20,000
経常支出計	1,287,301,651	85,129,927	37,700,366	2,099,654
当期経常増減額	△ 415,312,737	19,105,736	13,400,737	△ 1,357,259
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収入				
1 固定資産売却収入		3,036,435		
(2) 経常外支出				
1 資産評価支出				17,225,000
当期経常外増減額		3,036,435		△ 17,225,000
当期一般正味財産増減額	△ 415,312,737	22,142,171	13,400,737	△ 18,582,259
一般正味財産期首残高	3,995,954,836	1,060,235,896	47,706,494	△ 1,282,475
一般正味財産期末残高	3,580,642,099	1,082,378,067	61,107,231	△ 19,864,734
II 指定正味財産増減の部				
1 補助金等収入	353,386,411			29,106,264
2 一般正味財産への振替額	353,386,411			29,106,264
III 正味財産期末残高	3,934,028,510	1,082,378,067	61,107,231	9,241,530

財産目録

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	今年度	前年度	比較増減(△)	科目	今年度	前年度	比較増減(△)
流動資産	365,528,641	368,612,903	△ 3,084,262	流動負債	112,144,041	101,071,530	11,072,511
現金及び預金	248,449,218	265,177,740	△ 16,728,522	短期未払金	111,425,729	100,246,290	11,179,439
短期未収金	110,829,923	97,185,663	13,644,260	短期預り金	718,312	825,240	△ 106,928
有価証券および出資金	6,249,500	6,249,500	0	固定負債	979,236,237	802,191,532	177,044,705
固定資産	5,812,606,975	5,637,264,910	175,342,065	引当金	78,553,375	83,190,340	△ 4,636,965
有形固定資産	2,801,886,039	2,654,312,703	147,573,336	公庫資金等長期借入金	86,333,822	81,794,831	4,538,991
無形固定資産	21,775,014	57,885,271	△ 36,110,257	その他長期借入金	764,919,405	589,396,726	175,522,679
その他資産	2,988,945,922	2,925,066,936	63,878,986	適正化事業拠出金未払金	8,910,000	7,290,000	1,620,000
				長期未払金	40,519,635	40,519,635	0
資産合計	6,178,135,616	6,005,877,813	172,257,803	負債合計	1,091,380,278	903,263,062	188,117,216
				正味財産の部	5,086,755,338	5,102,614,751	△ 15,859,413

令和2年度 事業報告

①地区及び組合員の状況

会計別	R2年度末地積(ha)	前年度比(ha)	関係組合員(人)	会計別	R2年度末地積(ha)	前年度比(ha)	関係組合員(人)
一般会計	11,300.4	△ 5.1	4,551	鶴岡西部	2,136.8	△ 0.3	905
青龍寺川共通	4,749.1	△ 2.9	1,786	押切地区	523.0	△ 0.2	286
中川共通	3,548.1	△ 0.4	1,575	広野地区	810.9	0.1	481
天保大川共通	1,362.1	△ 1.6	675	大泉地区	899.0	△ 0.8	438
八沢川共通	1,325.7	0.0	451	東郷堰地区	714.1	△ 0.2	231
団体営	47.9	0.0	28	県営たらのきだい地区	27.1	0.0	26
県営赤川	3,930.1	△ 1.3	1,531				

②事業の実施状況

事業名	地区数	実施件数	事業費(円)	補助率等	主な事業内容
土地改良施設維持管理適正化事業	6地区	11件	50,300,000	60%	揚水機場・パイプラインほか
農業基盤整備促進事業	4地区	4件	8,700,000	59% (鶴岡) 54% (酒田・三川)	揚水機場・用水路・排水路
農業用水路等長寿命化・防災減災事業	2地区	5件	23,340,000	67.5%	用水路・自動堰
山形県防災減災事業	2地区	2件	7,000,000	定額	用水路転落防止対策
受託事業	4地区	9件	34,693,322	—	排水機場管理ほか
農道管理業務受託事業	4地区	8件	16,758,000	—	農道補修・敷砂利ほか

③賦課金の納入状況

(単位：円)

賦課区分	令和2年度				過年度		
	調定額	納入額	未納額	徴収率	調定額	納入額	未納額
運営事務費	67,813,249	67,437,642	375,607	99.4%	2,984,906	814,813	2,170,093
青龍寺川共通	94,007,648	93,365,203	642,445	99.3%	3,464,930	1,187,270	2,277,660
中川共通	92,248,103	91,734,976	513,127	99.4%	5,665,170	1,495,366	4,169,804
天保大川共通	83,176,337	82,325,948	850,389	99.0%	18,456,443	2,366,835	16,089,608
八沢川共通	63,591,779	63,538,545	53,234	99.9%	257,735	85,987	171,748
団体営	2,254,082	2,254,082	0	100.0%	467,553	113,586	353,967
県営赤川	74,157,916	73,523,997	633,919	99.1%	5,207,923	1,096,662	4,111,261
鶴岡西部	103,929,109	103,351,126	577,983	99.4%	7,585,138	2,088,066	5,497,072
押切地区	25,668,869	25,497,841	171,028	99.3%	760,859	499,565	261,294
広野地区	26,408,381	26,377,759	30,622	99.9%	742,763	203,028	539,735
大泉地区	3,814,065	3,795,373	18,692	99.5%	133,902	81,987	51,915
東郷堰地区	33,686,987	33,244,234	442,753	98.7%	402,866	286,290	116,576
県営たらのきだい地区	271,825	270,692	1,133	99.6%	-	-	-
合計	671,028,350	666,717,418	4,310,932	99.4%	46,130,188	10,319,455	35,810,733

④会議の開催状況

区分	総代会	理事会	監事会	理事協議会	委員会	定例監査
回数	2回	10回	5回	-	-	2回

⑤農地転用及び決済金納入状況

事業区分	転用面積 (ha)	納入額 (円)	事業区分	転用面積 (ha)	納入額 (円)
運営事務費	2.87	461,614	鶴西県圃(京田・栄)	0.06	102,600
青龍寺川(共通)	2.40	1,204,371	鶴西県圃(大泉)	0.21	309,744
中川(共通)	0.26	205,451	広野地区(共通)	0.04	35,640
天保大川(共通)	0.11	185,061	大泉地区(共同)	0.63	58,092
八沢川(共通)	0.02	33,534	大泉地区(安丹)	0.04	1,377
県営赤川(青龍寺川)	1.03	614,967	東郷堰地区	0.02	34,309
県営赤川(中川)	0.15	71,842	合計	-	3,318,602

⑥長期借入金償還状況

(単位：円)

地区(会計別)	事業名	借入先	借入金	R2償還元金	元金残高	償還完了年度
団体営土地改良事業費	西荒屋圃場整備事業	JA庄内たがわ	86,106,728	5,092,645	0	R2年度完了
東郷堰地区維持管理事業費	門前地区担い手育成基盤整備事業	日本政策金融公庫	34,555,000	1,419,412	2,795,152	R6年度
黄金地区事業費	水利施設等保全高度化事業	日本政策金融公庫	17,775,000	0	17,775,000	R22年度
広野地区事業費	農業水利施設保全合理化事業	JAそでうら	95,180,000	0	74,210,356	R22年度
		JA庄内みどり	73,450,000	0	53,316,049	R21年度
		全土連	638,760,000	0	637,393,000	R22年度
		計	807,390,000	0	764,919,405	
天保大川地区共通事業費	県営かんがい排水事業	日本政策金融公庫	104,800,000	13,963,716	0	R2年度完了
		日本政策金融公庫	5,000,000	777,881	0	R2年度完了
		JA庄内たがわ	101,815,864	15,384,676	0	R2年度完了
		計	211,615,864	30,126,273	0	
県営たらのきだ地区圃場整備事業費	経営体育成基盤整備事業	日本政策金融公庫	66,068,070	0	65,763,670	R22年度
合計			1,223,510,662	36,638,330	851,253,227	

国営・県営事業に係る要請活動を実施

各種協議会において、農林水産省、財務省、国土交通省等へ訪問し要請活動を行いました。今後も関係機関と連携を深めながら予算確保に努めて参りますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和3年11月15日 農林水産省、財務省への要請活動
全国大規模農業水利事業協議会(当区副会長)



農林水産省農村振興局次長安部伸治氏と

令和3年12月1日 関係国会議員への訪問
農地整備事業等の推進について



国土交通大臣政務官 衆議院議員 加藤鮎子氏と



農林水産大臣政務官 参議院議員 宮崎雅夫氏と

お知らせとお願い

次のような場合は土地改良区への届出が必要です

組合員の資格に移動があった場合

- 農地の売買や貸借 または 解約したとき
- 組合員が亡くなられたとき ● 組合員が経営移譲したとき
- 住所・氏名・電話番号・口座番号に変更があったとき

組合員資格得喪通知書 の提出

ご注意ください!

滞納賦課金は新しい組合員の負担です

売買や受委託により所有権の移転や貸借権の設定(解約含む)が生じる場合、土地改良法第42条第1項により滞納賦課金は新たな組合員に継承されます。農地の権利移動の際は必ず滞納賦課金の有無について土地改良区までお問い合わせください。

農地を転用する場合

- 農地を宅地等に転用するとき
- 公共事業等により農地が買収されたとき

① 農地転用等の通知書 ② 地区除外申請書の提出

土地改良施設等を使用したい場合

- 水路横断など出入口等として使用するとき
- 水路へ雨水排水や合併浄化槽処理水を放流するとき

他目的使用承認申請書の提出

賦課金の納入について

■ 賦課金納付のおねがい 土地改良区は組合員の皆様からの賦課金により運営されております。適正な業務運営及び土地改良事業等を実施する上で必要な経費ですので、必ず期限内の納付をお願いいたします。賦課金に関する相談・問い合わせは総務課賦課徴収係までご連絡ください。

■ 賦課金の納付は口座振替のほかコンビニエンスストア等でも可能です

口座振替

- JA鶴岡 ● JA庄内たがわ ● JA庄内みどり
- JAそでうら ● 庄内銀行 ● 山形銀行
- 鶴岡信用金庫

※口座振替の手続きは、本区または各JA窓口でお願いいたします。

コンビニエンスストア・MMK設置店

- セブンイレブン ● ローソン ● ファミリーマート
- デイリーヤマザキ 他
- ツルハドラッグ ● セイムス ● ウエルシア ● イオン ● New Days 他

※専用の払込取扱伝票を発行いたしますので、本区総務課賦課徴収係までご連絡ください。

令和4年の取水について

赤川頭首工からの取水は4月11日より開始となりますが、かんがい用水としての水利用は4月26日からです。必ずルールに則った水管理を行い、違法な水利用は絶対にしないでください。

取水スケジュール

- 水路維持用水 (非農業用水) 4月11日～4月25日 ※圃場への利用はできません
- かんがい用水 4月26日～9月15日

各連絡先

総務課	総務係	☎0235-22-2135
	賦課徴収係	☎0235-22-5079
会計室		☎0235-22-5079
FAX: 0235-22-2185 (総務課・会計室共通)		
E-mail: info@shonaiakagawa.jp		

工務第一課	青龍寺川地区・八沢川地区	☎0235-22-2477
国営施設管理室	赤川頭首工	☎0235-53-2414
工務第二課	中川地区・天保大川地区	☎0235-22-2488
FAX: 0235-22-2434 (工務課共通)		
E-mail: koumu@shonaiakagawa.jp		

ホームページをご利用ください

各種申請書様式やお知らせ等を公開しております。
URL: <http://www.shonaiakagawa.jp>



事務所の所在地

